

令和元年度

敬老事業市民意識調査

報 告 書

富士市 福祉こども部 福祉総務課

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、敬老事業全体の見直しにあたり、市民の意見などを伺い、今後の敬老事業の在り方についての検討の基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象

富士市在住の満 18 歳以上の方を無作為抽出

3 調査期間

令和元年 9 月 26 日から令和元年 10 月 18 日

4 調査方法

配布に関して: 郵送(インターネット回答もできるよう回答用 QR コード添付)

回収に関して: 郵送とインターネット

5 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
3,000 票	1,604 票	53.0%

6 調査結果の表示方法

○調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。

○複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。

○図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は、回答比率(%)である。

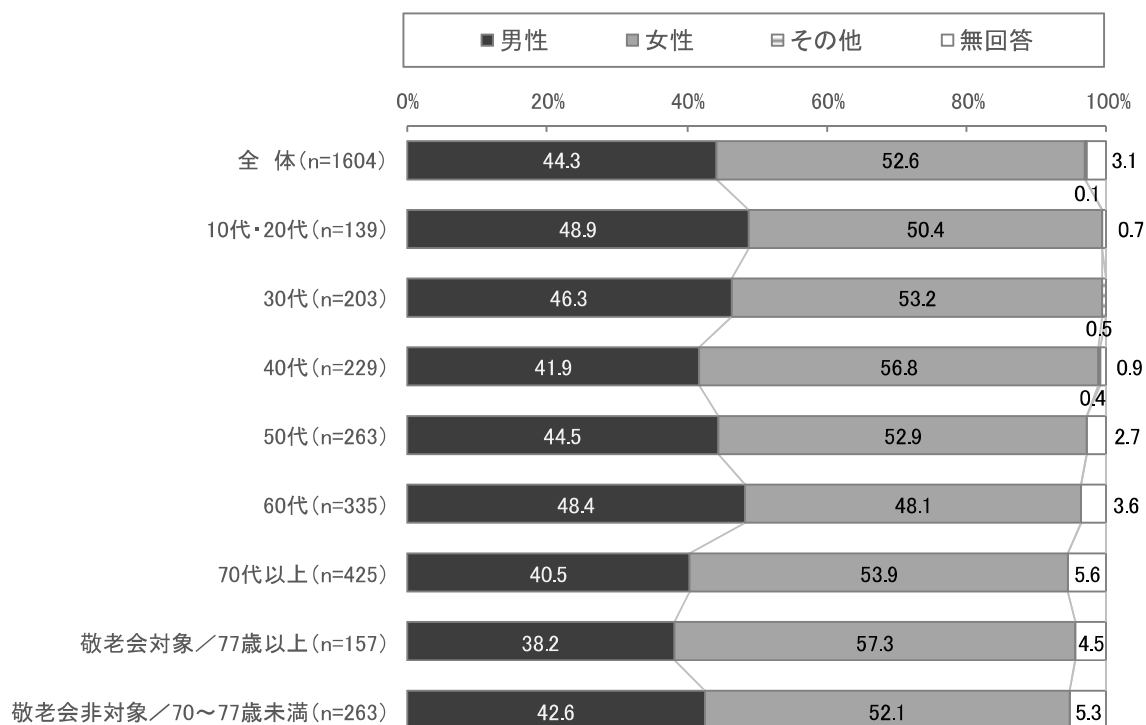
○選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いている。

II 調査結果

II 調査結果

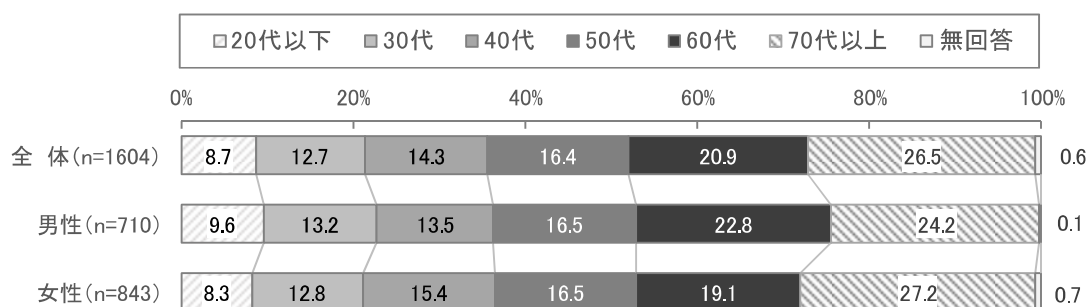
回答者属性

【性別】



全体で見ると、男性 44.3%、女性 52.6%と女性が過半数を占めている。

【年齢】



全体で見ると、70代以上が 26.5%で最も高く、次いで 60代 20.9%、50代 16.4%と年代が上がるごとに割合が高くなっている。

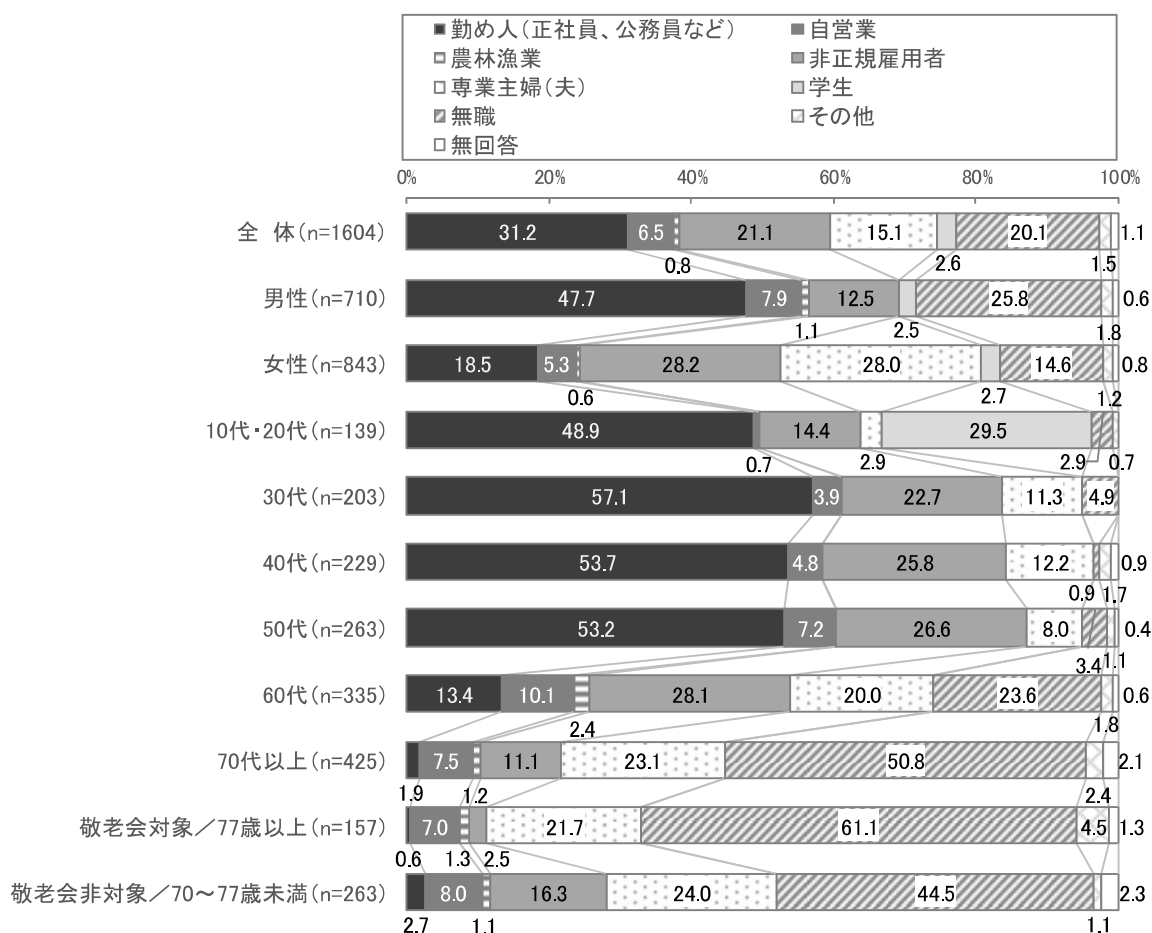
【居住地】

	(n=)	吉原	伝法	今泉	広見	元吉原	須津	浮島	吉永	原田	大淵	富士駅北	富士北	富士駅南	富士南
全体	1604	4.4	5.7	5.1	5.3	2.8	2.7	0.7	2.1	1.6	6.2	3.5	4.5	5.7	7.5
男性	710	5.1	4.6	6.1	4.6	2.1	2.5	0.7	2.5	1.7	6.9	4.5	3.5	6.1	8.0
女性	843	4.0	6.6	4.4	5.6	3.1	3.1	0.7	1.9	1.7	5.6	2.7	5.0	5.7	7.4

	(n=)	田子浦	岩松	鷹岡	丘	富士見台	神戸	天間	青葉台	吉永北	岩松北	富士川	松野	わからない	無回答
全体	1604	6.2	4.7	6.0	5.1	1.9	1.8	2.8	2.4	0.7	2.2	2.6	3.3	1.5	0.6
男性	710	6.5	4.4	4.9	5.5	1.8	1.7	2.4	2.5	0.8	2.1	3.2	3.1	1.8	0.1
女性	843	6.2	4.6	6.9	4.7	2.0	2.0	3.2	2.4	0.7	2.3	2.1	3.4	1.3	0.7

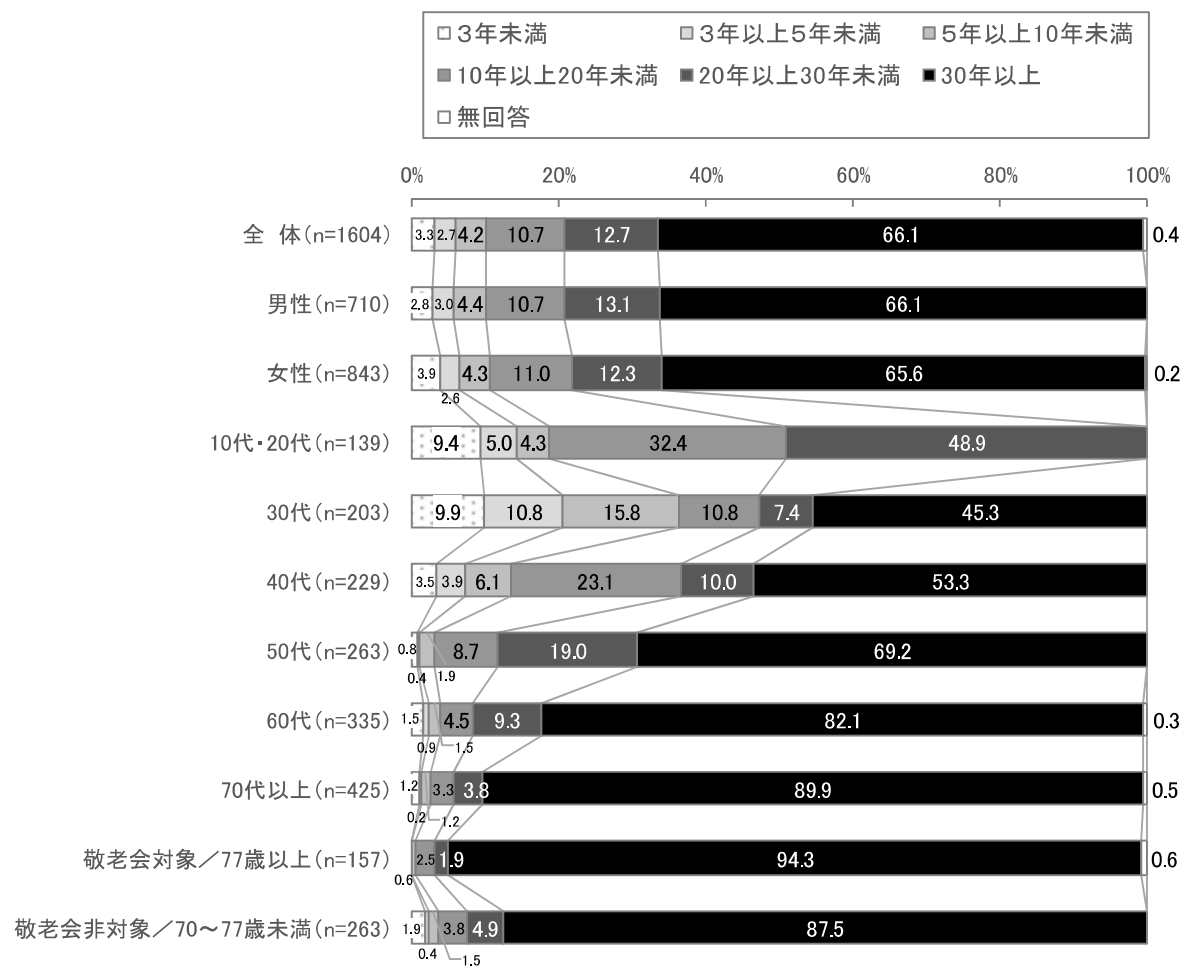
全体で見ると、「富士南」が7.5%で最も高く、次いで「大淵」と「田子浦」が6.2%、「鷹岡」6.0%の順となっている。

【職業】



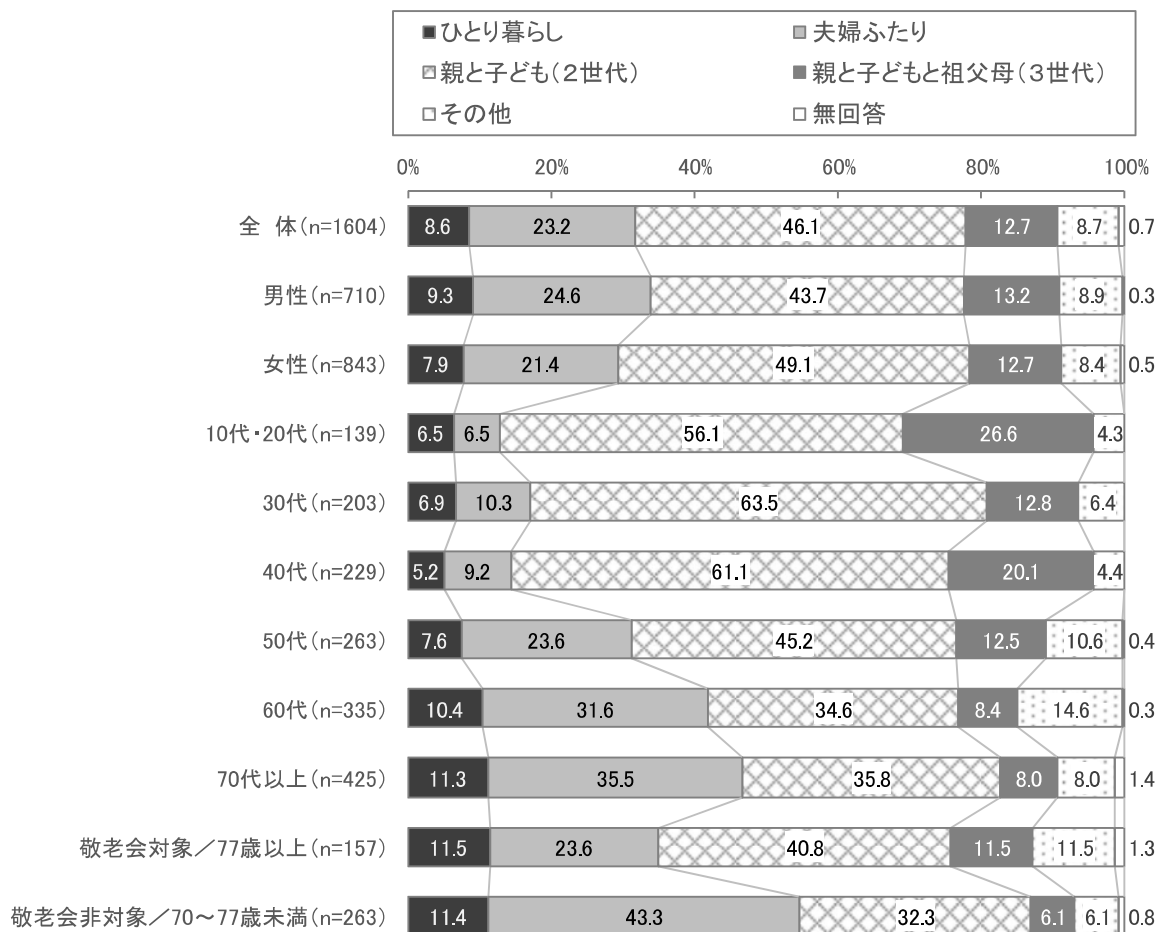
全体で見ると、「勤め人(正社員、公務員など)」が31.2%で最も高く、次いで「非正規雇用者」21.1%、「無職」20.1%の順となっている。

【富士市（旧富士川町を含む）居住年数】



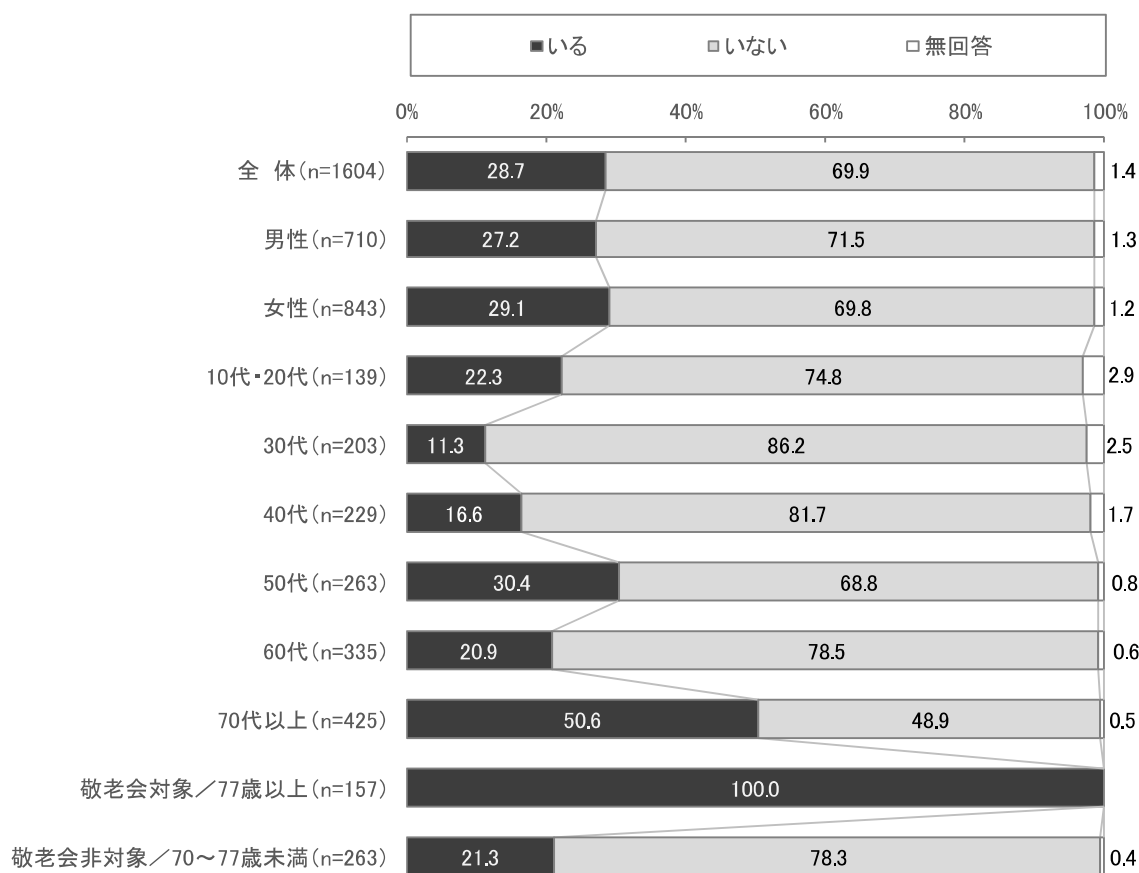
全体で見ると、「30年以上」が66.1%で最も高く、次いで「20年以上30年未満」12.7%、「10年以上20年未満」10.7%の順となっている。

【家族構成】



全体で見ると、「親と子ども(2世代)」が46.1%で最も高く、次いで「夫婦ふたり」23.2%、「親と子どもと祖父母(3世代)」12.7%の順となっている。

【本人含め 77 歳以上の家族】



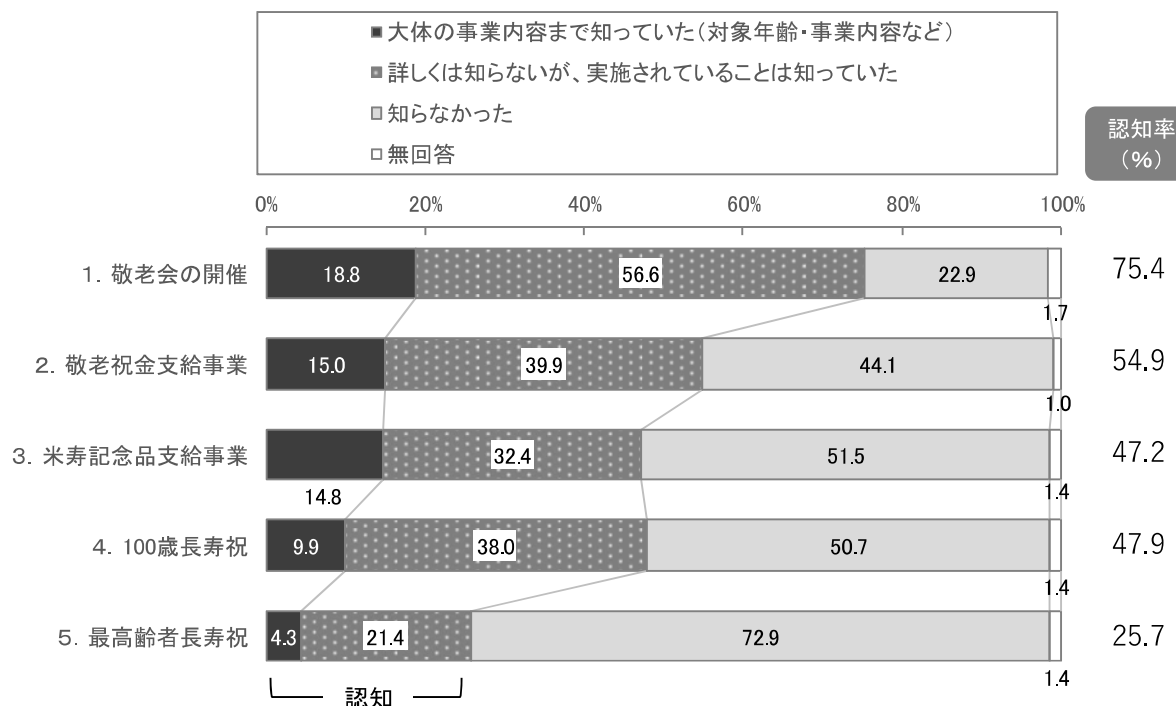
全体で見ると、「いる」が 28.7%、「いない」が 69.9%で「いない」がおよそ 7 割を占めている。

1. 富士市の敬老事業全体について

(1) 敬老事業の認知状況

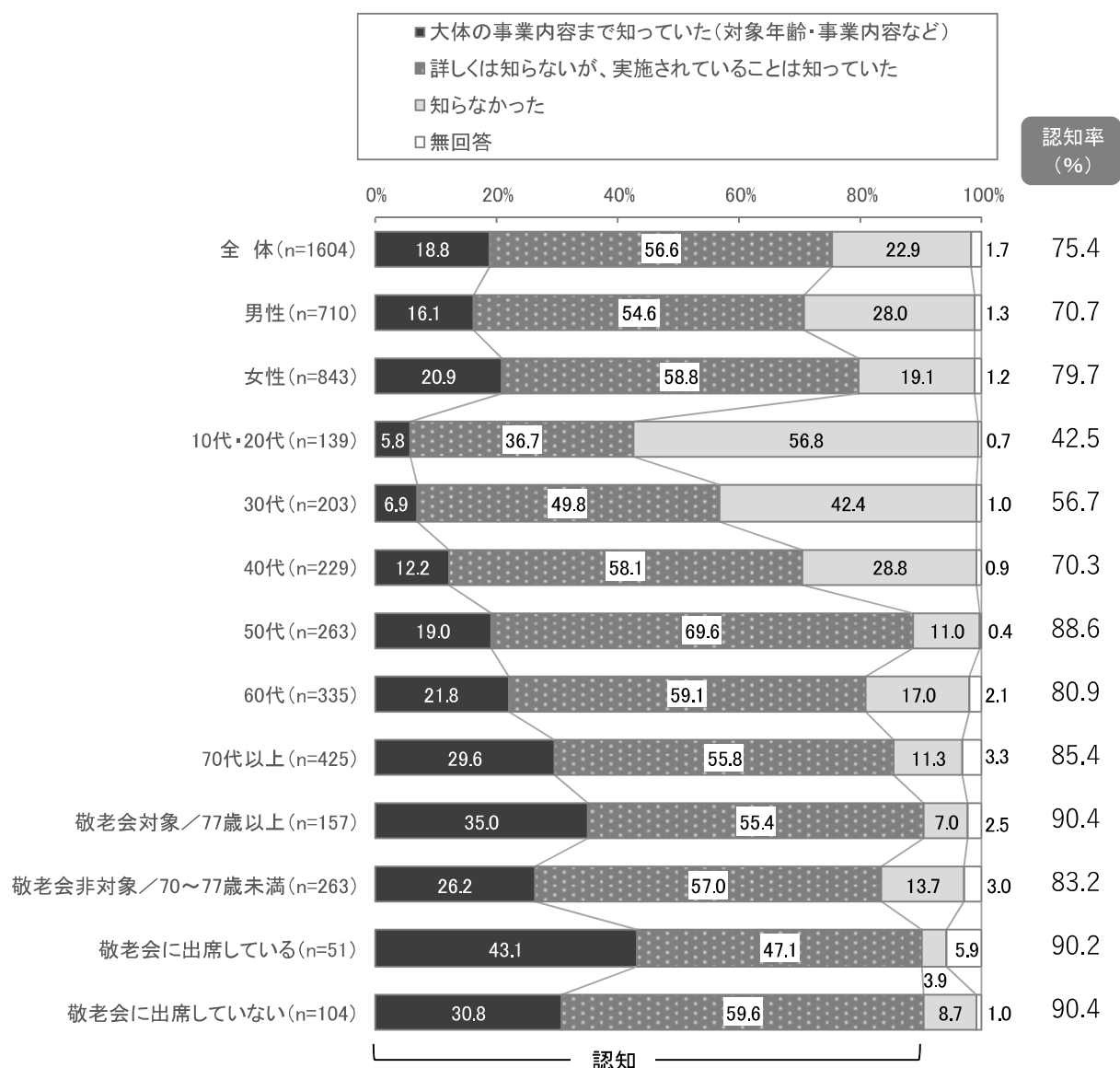
問1 富士市では、高齢者を敬愛し長寿を祝うためや地域での交流をはかるために、77歳以上の方を対象に、下記のような敬老事業を実施しています。
あなたは、次にあげる富士市の敬老事業について、どの程度知っていますか。
(項目ごとに○は1つずつ)

全体(n=1604)



敬老事業の認知状況について、全体で見ると、「大体の事業内容まで知っていた(対象年齢・事業内容など)」と「詳しくは知らないが、実施されていることは知っていた」の2つを合わせた「認知率」は、「1. 敬老会の開催」が75.4%で最も高く、次いで「2. 敬老祝金支給事業」54.9%、「4. 100歳長寿祝を贈呈」47.9%の順となっている。

【1. 敬老会の開催（77歳以上が対象）】



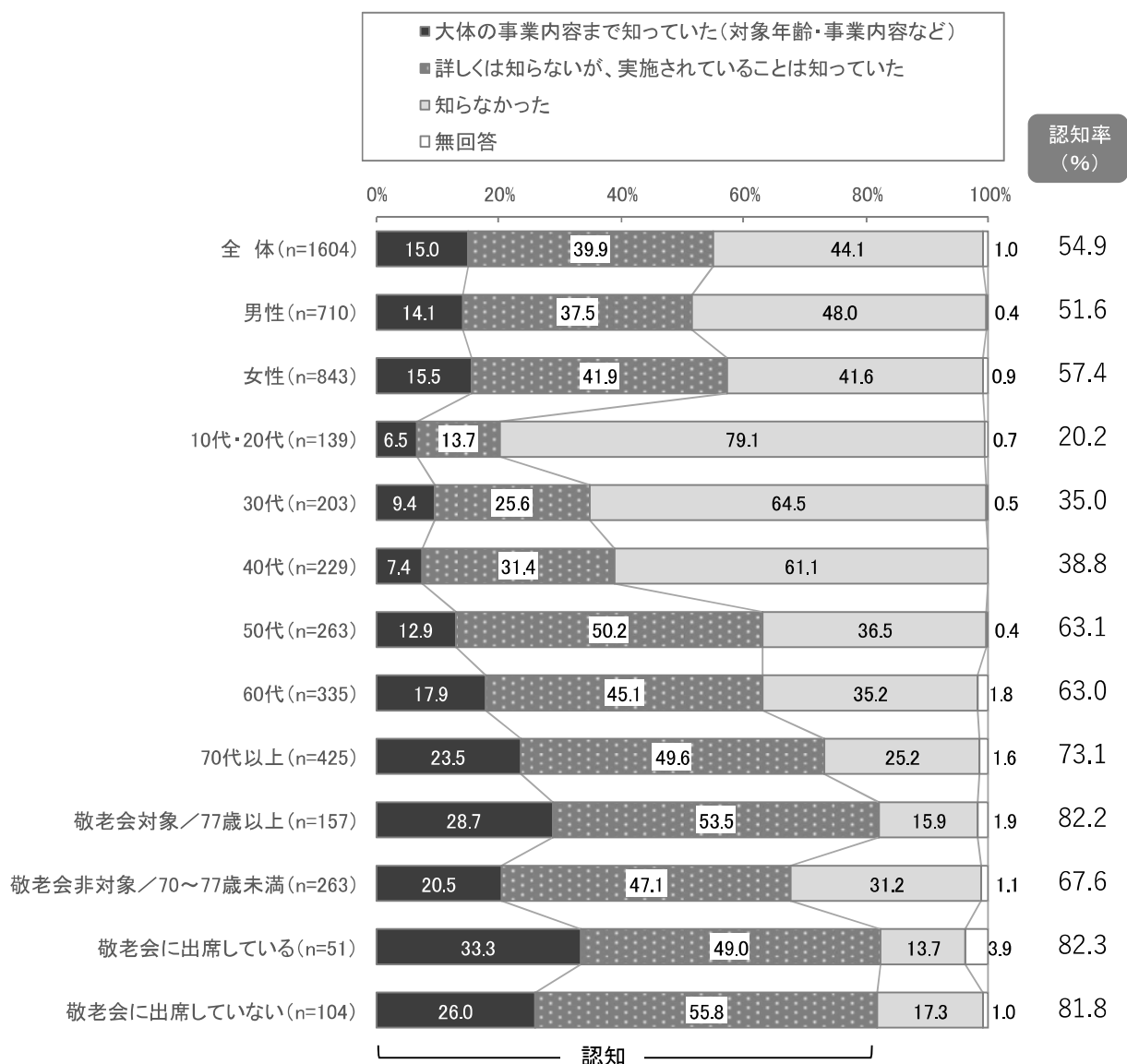
敬老会の開催に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は75.4%で7割以上となっている。男女別にみると、「認知率」は男性70.7%、女性79.7%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は50代が88.6%と最も高い。また、50代以上から「認知率」が8割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者で90.4%とおおよそ9割が認知しており、非常に高い割合となっている。なお、非対象者でも「認知率」は83.2%と高い割合となっている。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者も非出席者もおおよそ9割となっている。

【2. 敬老祝金支給事業（77歳、80歳、90歳、99歳に5,000円を贈呈）】



敬老祝金支給事業に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は 54.9%となっている。

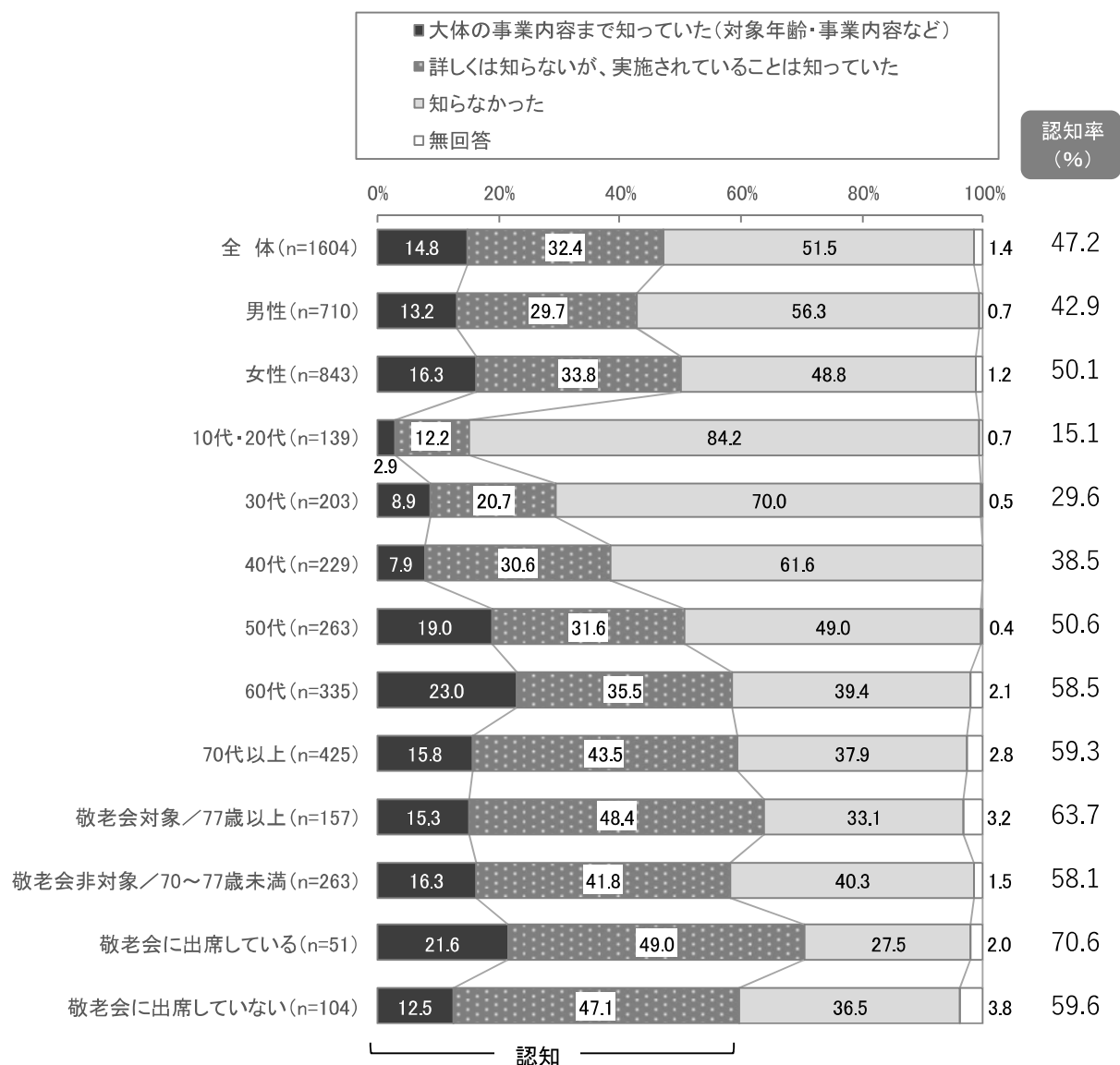
男女別にみると、「認知率」は男性 51.6%、女性 57.4%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は 70 代以上が 73.1%と最も高い。また、50 代以上から「認知率」が 6 割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が 82.2%、非対象者が 67.6%と、対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者も非出席者も 8 割以上となっている。

【3. 米寿記念品支給事業（88歳）（肖像写真・大座布団・地場産品の詰合せから1品選択したものを贈呈）】



米寿記念品支給事業に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は47.2%となっている。

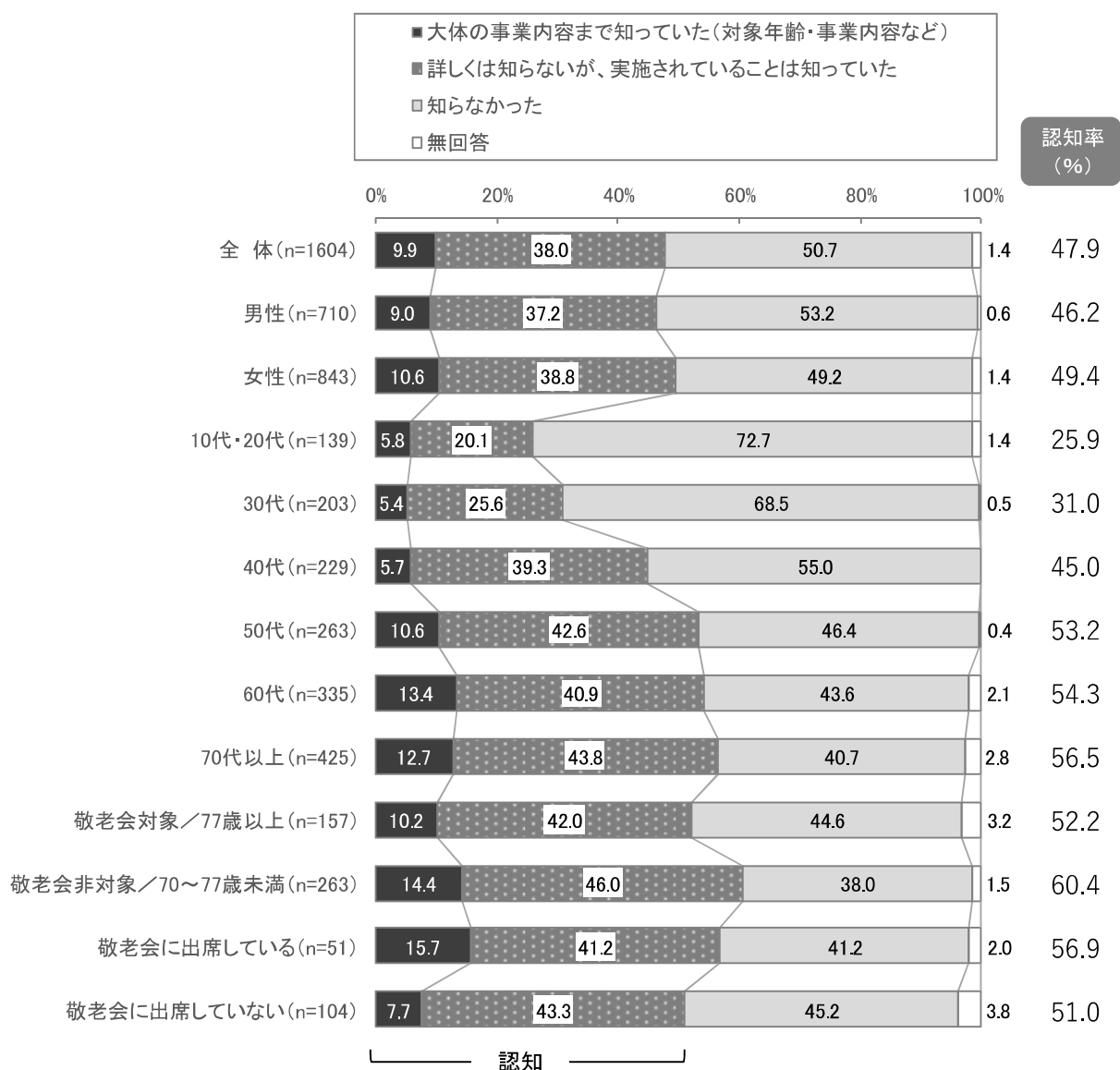
男女別にみると、「認知率」は男性42.9%、女性50.1%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は70代以上が59.3%と最も高い。また、年代が高くなるにつれて「認知率」も高くなっている。なお、50代以上から「認知率」が5割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が63.7%で、非対象者が58.1%と、対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が70.6%、非出席者が59.6%で、出席者のほうが高い。

【4. 100歳長寿祝（10万円、花束、賀詞を贈呈）】



100歳長寿祝に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は47.9%となっている。

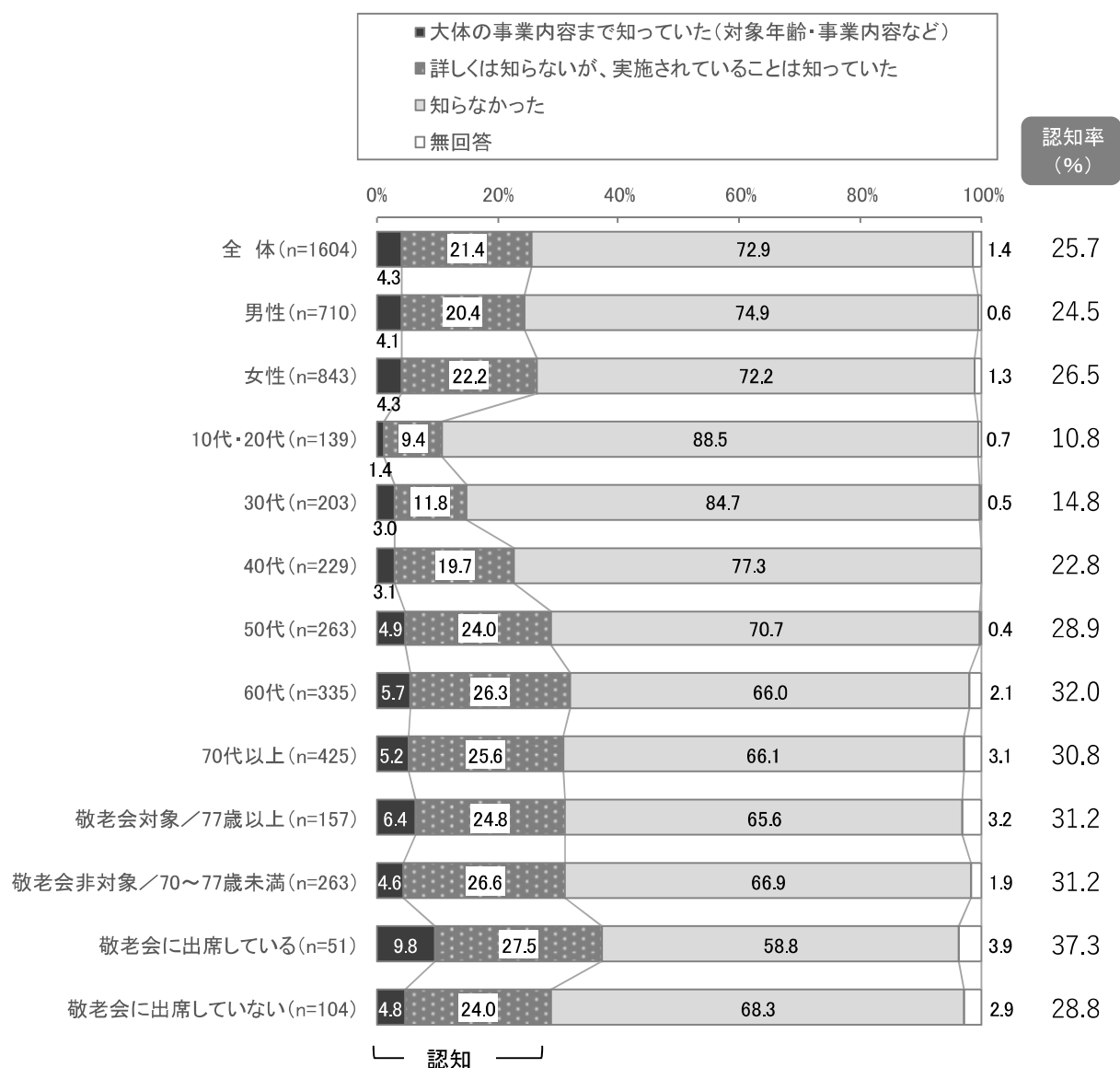
男女別にみると、「認知率」は男性46.2%、女性49.4%と女性のほうが高い。

年代別にみると、「認知率」は70代以上が56.5%と最も高い。また、年代が高くなるにつれて「認知率」も高くなっている。なお、50代以上から「認知率」が5割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者が52.2%で、非対象者が60.4%と、非対象者のほうが「認知率」が高い。

敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が56.9%、非出席者が51.0%で、出席者のほうが高い。

【5. 最高齢者長寿祝（1万5,000円以内の記念品、花束を贈呈）】

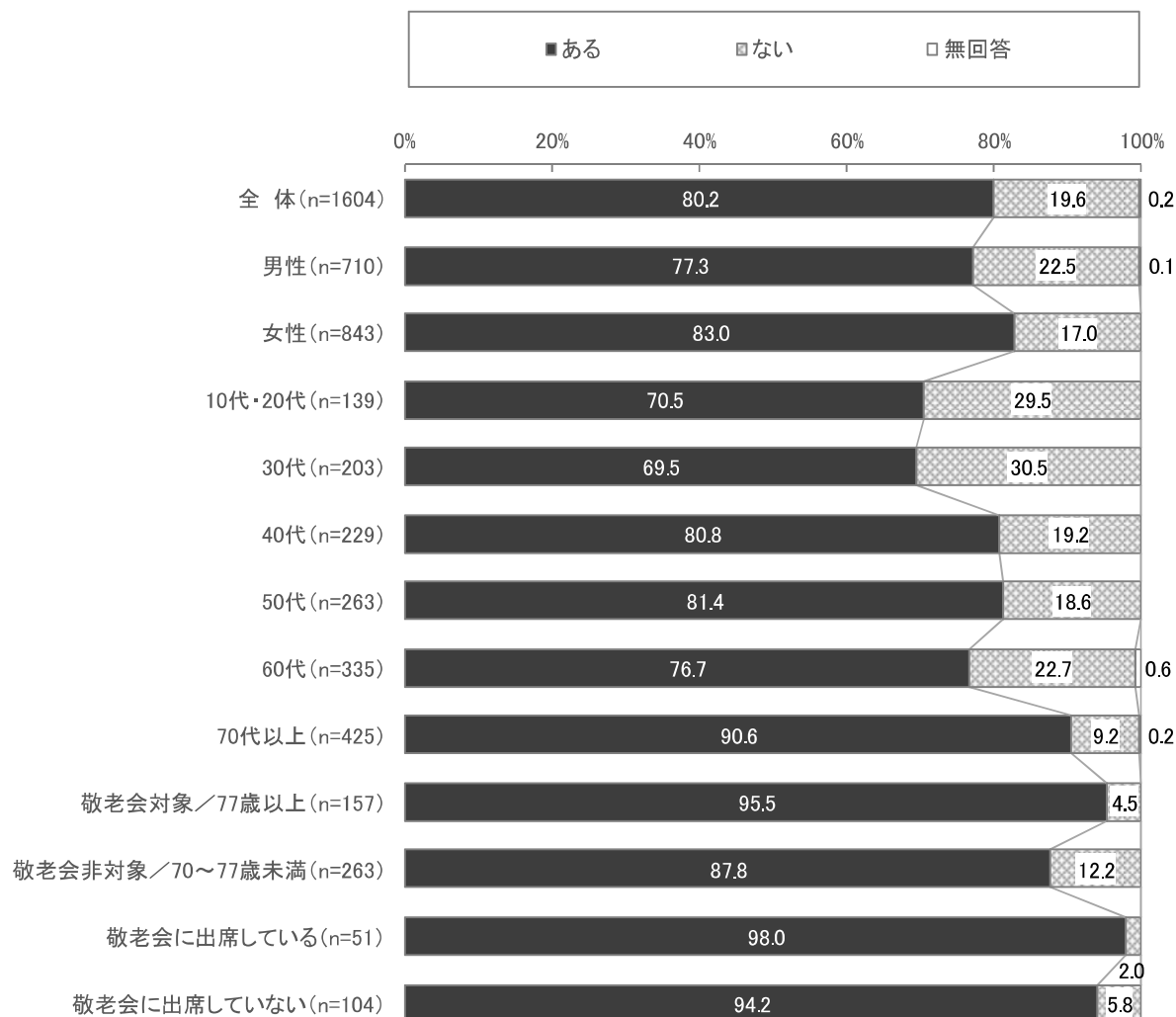


最高齢者長寿祝に関する認知状況について、全体で見ると、「認知率」は25.7%となっている。男女別にみると、「認知率」は男性24.5%、女性26.5%と女性のほうが高い。年代別にみると、「認知率」は60代が32.0%と最も高い。また、60代以上から「認知率」が3割を超えている。

敬老会対象別にみると、「認知率」は対象者・非対象者ともに31.2%となっている。敬老会の出席者別にみると、「認知率」は出席者が37.3%、非出席者が28.8%と、出席者のほうが高い。

(2) 高齢者との関わり

問2 あなたは、日頃、65歳以上の家族や地域の高齢者と関わる機会がありますか。
(○は1つ)



高齢者との関わりについて、全体で見ると、「ある」80.2%、「ない」19.6%となっている。

男女別にみると、「ある」は男性 77.3%、女性 83.0%と女性のほうが高い。

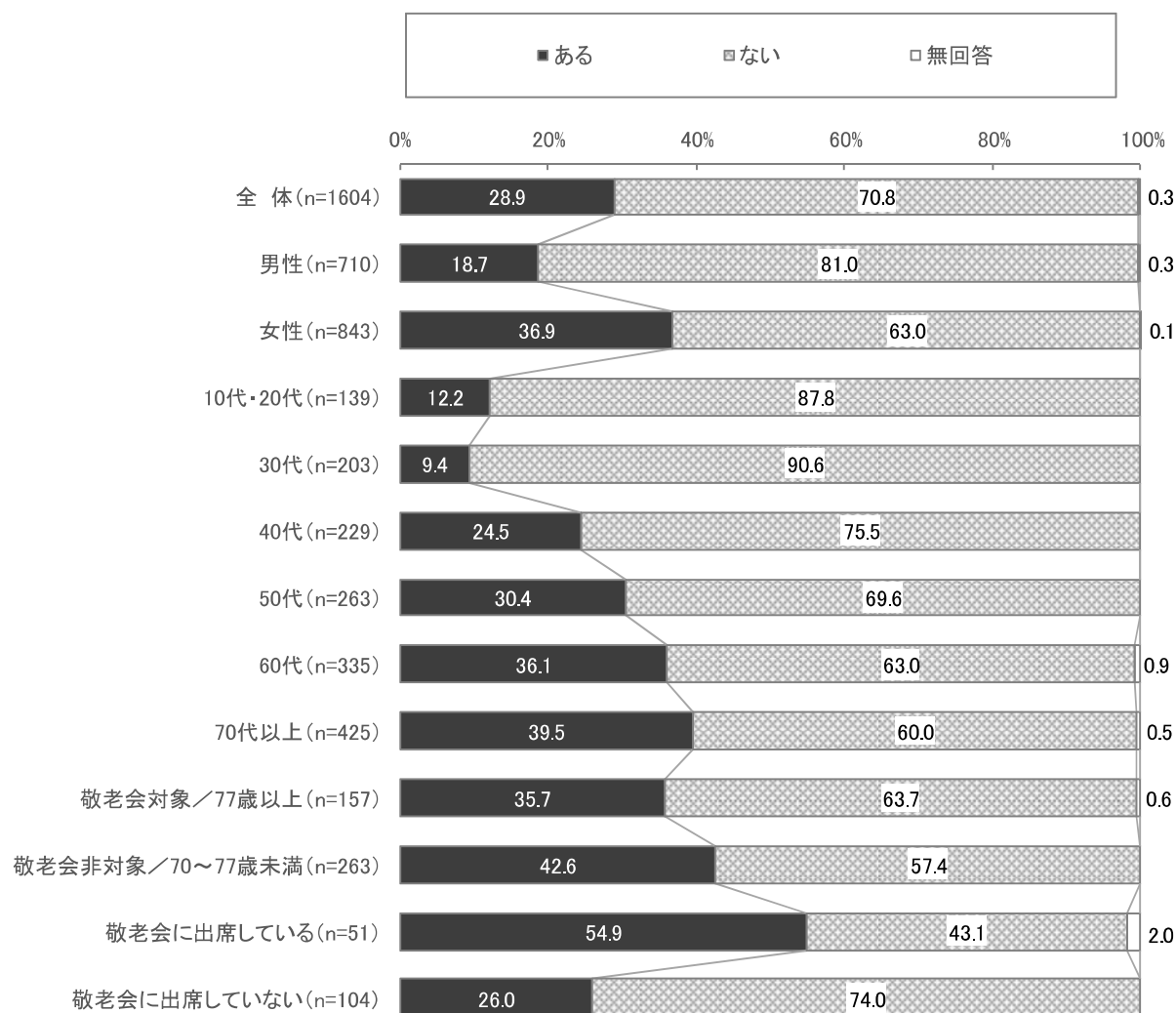
年代別にみると、「ある」は70代以上で90.6%と最も高い。また、「ある」は40代、50代で8割を超えている。

敬老会対象別にみると、「ある」は対象者が95.5%で、非対象者が87.8%と、対象者のほうが「ある」の割合が高い。

敬老会の出席者別にみると、「ある」は出席者が98.0%、非出席者が94.2%と、どちらも9割以上と非常に高い割合となっている。

(3) 敬老事業との関わり

問3 あなたは、これまでに敬老会や敬老に関する催しものの準備や運営に関わったことがありますか。(〇は1つ)



敬老事業との関わりについて、全体で見ると、「ある」28.9%、「ない」70.8%となっている。

男女別にみると、「ある」は男性 18.7%、女性 36.9%と女性のほうが高く、男性の2倍近い。

年代別にみると、「ある」は70代以上で39.5%と最も高い。また、「ある」は50代以上から3割以上の割合となっている。

敬老会対象別にみると、「ある」は対象者が35.7%、非対象者が42.6%と、非対象者のほうが「ある」の割合が高い。

敬老会の出席者別にみると、「ある」は出席者が54.9%、未出席者が26.0%と、出席者は5割以上と過半数を占めている。